

洪水 ハザード マップ



— 保存版 —

★ 洪水ハザードマップとは

大雨によって河川がはん濫した場合に、浸水する範囲や深さを予想したものです。はん濫時の避難場所、水害に対する知識や心得など、各種の情報を提供することにより、日頃からの防災意識を高めるとともに、いざというときに安全かつスムーズな避難行動につなげ、被害を最小限にすることを目的としています。

洪水は、河川の大きさや整備の状況により異なりますが、大雨で堤防が壊れたり、水があふれたりすることを想定しています。

● 利根川 ●

利根川流域、八斗島上流域の
3日間総雨量318mm
(概ね200年に1回程度)

● 江戸川 ●

利根川流域、八斗島上流域の
3日間総雨量318mm
(概ね200年に1回程度)

● 荒川 ●

荒川流域の
3日間総雨量548mm
(概ね200年に1回程度)

● 大落古利根川 ●

中川・綾瀬川流域の
2日間の総雨量355mm
(概ね100年に1回程度)

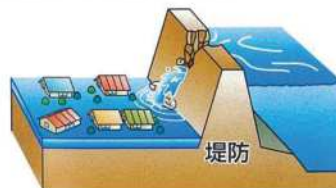
杉戸町において対象となる河川は、国または県が浸水想定区域を公表した利根川、江戸川、荒川、大落古利根川です。

★ 浸水想定区域とは

河川のはん濫が起こった場合の浸水区域を示しています。

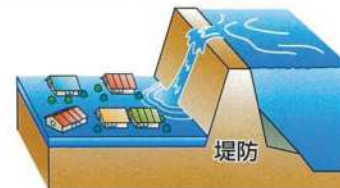
破堤によるはん濫

洪水や降雨等の外力に対して、堤防が耐えられなくなり、崩れることによって生じる浸水です。



越水によるはん濫

降雨によって河川の水量が増加し、堤防から水があふれる場合などに生じる浸水です。



★ 洪水災害とは

洪水

洪水とは、雨などにより、川の水量が普段より著しく増えた状態をいいます。

通常、河原へ行くと広い敷地の中心部しか水が流れていません。

ところが、川幅いっぱいに水がおしよせると、広い河原も水の下にかくれて見えません。このように異常に水が増えたときを「洪水」といいます。

はん濫

はん濫とは、雨などにより、住宅地や農地などに水があふれることをいいます。川から水があふれることを「外水はん濫」といいます。

川から水があふれるのではなく、住宅地や農地に降った雨がそのまままわってあふれることを「内水はん濫」といいます。



水害

水害とは、水によって起こされる災害のことで、外水はん濫も内水はん濫も水害と呼ばれます。



※この洪水ハザードマップは、内水はん濫による浸水は対象としていません。